

学生のための大学図書館を問い直す ユーザーエクスペリエンスの視点から

趣旨説明

名古屋大学附属図書館長 佐久間淳一

オープンサイエンス時代にふさわしい 「デジタル・ライブラリー」の実現に向けて ～ 2030年に向けた大学図書館のロードマップ ～

「デジタル・ライブラリー」の実現は、オープンサイエンスを実質化し、データ駆動型研究の基盤を提供するとともに、我が国における研究成果の社会実装と研究力強化に寄与するものである。

また、多様化する高等教育とその学修者のニーズに対応して、いつでも、どこでも学ぶことを可能にし、学修者本位の質の高い教育・学修の実現に資するものでもある。

1. 趣旨説明

2. 話題提供：教育者・図書館長の立場から

- ・川合真紀（埼玉大学図書館長, 植物生理・分子生物学）
- ・柏原昭博（電気通信大学附属図書館長, 情報学）
- ・川島優子（広島大学図書館長, 文学）
- ・浜田久之（長崎大学附属図書館長, 科学教育（医学教育）・内科学）
- ・内田誠一（九州大学附属図書館長, 画像情報学）

3. 話題提供：国内外の事例

- ・金藤伴成（京都大学附属図書館総務課長）
- ・富岡達治（名古屋大学附属図書館情報管理課長）

○休憩

4. パネルディスカッション・全体ディスカッション

(ファシリテーター)

内田誠一 (九州大学附属図書館長)

(パネリスト)

川合真紀 (埼玉大学図書館長)

柏原昭博 (電気通信大学附属図書館長)

川島優子 (広島大学図書館長)

浜田久之 (長崎大学附属図書館長)

5. まとめ

佐久間淳一 (名古屋大学附属図書館長)